

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 26 年 1 月 9 日 (2014.1.9)

【公開番号】特開 2011-122149 (P2011-122149A)

【公開日】平成 23 年 6 月 23 日 (2011.6.23)

【年通号数】公開・登録公報 2011-025

【出願番号】特願 2010-257935 (P2010-257935)

【国際特許分類】

C 0 8 L 27/08 (2006.01)

C 0 8 L 33/10 (2006.01)

C 0 8 L 27/06 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/10 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 27/08

C 0 8 L 33/10

C 0 8 L 27/06

C 0 8 L 63/00 A

C 0 8 K 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 11 月 15 日 (2013.11.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 0 】

物品がフィルム（好ましくは単層フィルム）である好ましい態様において、フィルムは、有利には、厚み少なくとも約 1 ミクロン（ $1 \times 10^{-6} \text{m}$ ）、好ましくは少なくとも約 5 ミクロン（ $5 \times 10^{-6} \text{m}$ ）、より好ましくは少なくとも約 7 ミクロン（ $7 \times 10^{-6} \text{m}$ ）、最も好ましくは少なくとも約 20 ミクロン（ $20 \times 10^{-6} \text{m}$ ）を有する。最も一般的な用途において、厚みは有利には最大約 500 ミクロン（ $500 \times 10^{-6} \text{m}$ ）、好ましくは最大約 300 ミクロン（ $300 \times 10^{-6} \text{m}$ ）、より好ましくは最大約 150 ミクロン（ $150 \times 10^{-6} \text{m}$ ）である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

塩化ビニリデンと重合した少なくとも 1 種のアクリル酸アルキルモノマーに由来する 3 . 4 ~ 6 . 7 モル%の mer 単位を有し；そして可塑剤を含み、そして以下の組成物特性（1）および（2）：（1）少なくとも 1 種のインクに対する親和性を増大させるのに十分な量の、分子量が最大 70,000 ダルトンである少なくとも 1 種の低分子量塩化ビニルポリマー；および（2）少なくとも 1 種のインクに対する親和性を増大させるのに十分な量の、少なくとも 1 種のメタクリルポリマー；の少なくとも 1 つを含む、少なくとも 1 種の塩化ビニリデン / アクリル酸アルキルポリマーのポリマー組成物から得られるポリマ

ー表面。

【請求項 2】

メタクリルポリマーまたは塩化ビニルポリマーを有さない他は同じである組成物のフィルム、物品または表面よりも大きい親和性または接着性を少なくとも 1 種のインクに対して有する、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 3】

アクリル酸アルキルがアクリル酸メチルである、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 4】

組成物が、少なくとも 1 種のエポキシ可塑剤および少なくとも 1 種のエステル可塑剤を含み、そして該エステル可塑剤またはその組合せが、ジブチルセバケート、アセチルトリブチルシトレート (A T B C)、他のシトレートエステル、他のポリマーまたは高分子量エステルオイル、およびこれらの組合せから選択される、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 5】

(1) 低分子量塩化ビニルポリマーが、総ポリマー組成物基準で 0.5 ~ 3 質量%の量で存在するか、(2) メタクリレートポリマーが、総ポリマー組成物基準で 0.5 ~ 3.5 質量%の量で存在するか、の少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 6】

総可塑剤量が、ポリマー組成物の質量基準で 0.5 ~ 3.5 質量%のエポキシ可塑剤またはエポキシ可塑剤の組合せを含むポリマー組成物基準で、4 ~ 9 質量%である、請求項 5 に記載のポリマー表面。

【請求項 7】

(1) 低分子量塩化ビニルポリマーが、総ポリマー組成物基準で 0.75 ~ 2.7 質量%の量で存在するか、または (2) メタクリレートポリマーが、総ポリマー組成物基準で 0.75 ~ 3 質量%の量で存在するか、の少なくとも 1 つである、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 8】

メタクリルポリマーが、分子量 100,000 ~ 400,000 を有し、そしてメタクリル酸メチルと：アクリル酸アルキル、異なるメタクリルモノマー、スチレンモノマーまたはこれらの組合せの少なくとも 1 つであってメタクリルポリマーの 50 ~ 70 質量%の量であるものとのコポリマーである、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 9】

塩化ビニルポリマーが、分子量 15,000 ~ 50,000 ダルトン、ならびに酢酸ビニル、アクリル酸アルキル、メタクリル酸アルキル、エチレン、スチレンモノマー、アクリル酸、メタクリル酸、マレイン酸、およびこれらの組合せから選択されるモノマーを有する、請求項 1 に記載のポリマー表面。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の表面を物品の表面の少なくとも一部として含む、物品。

【請求項 11】

少なくとも 1 つの、単層のフィルムもしくはシート、多層のフィルム、シートもしくはラミネート、成形もしくは組立された物品、またはコートされた物品を含む、請求項 10 に記載の物品。

【請求項 12】

印刷を表面上に有する、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のポリマー表面または物品。

【請求項 13】

請求項 1 に記載の表面にインクを塗布することを含む、印刷方法。